

演 題 名	生 産 力 ア ッ プ を 目 指 し た 酪 農 支 援 事 業 に よ る 飼 料 高 騰 対 策		
発 表 者 氏 名	松 浦 昌 平	所 属	伊 那 家 畜 保 健 衛 生 所
<p>酪農生産基盤の安定化のため、平成19年度から関係機関と連携した酪農支援事業をスタート。平成20年度はこれまでの乳質改善指導を主体とした取り組みに、新たに飼養管理技術改善指導、繁殖性向上対策を加え、アクティブな取り組みとしてバージョンアップ。関係機関による企画会議で実施計画を策定。飼養管理技術改善指導は5戸の農家で実施。代謝プロファイル検査結果等から改善点として、飼料給与方法の不適、ルーメン発酵の異常、リードフィードイングの不適などを確認。改善案を検討・提示し農家の理解を求めた結果、バルク乳の乳脂肪率、MUN値等の回復状況から改善傾向を確認。繁殖性向上対策は9戸で定期繁殖検診システムを構築し、早期妊娠診断、長期不受胎牛の検診等を実施。その結果、繁殖管理に対する農家の意識を高め、一部の農場で平均空胎日数、期待分娩間隔等の改善傾向を確認。家畜保健衛生所の役割を機能的に発揮することが、酪農生産基盤の強化につながると再認識。</p>			